

☆ 家族への愛・幸せ 一冊のノート 道徳感想 2020.6.17

自分が思ってる気持ちをすべて言葉で使っても思いが全部伝わるとは限らないから、1つ1つの言葉や行動で感謝の気持ちなどを伝えていきたいと思った。誰かに支えられているから、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思った

家族は1番近い存在だから、感謝があまりうまくできなかったりすることがあるけど、家族からいつも愛をもらってるように、私も返していかないといけないと思った。

すべておばあちゃんのせいにするのはいけないと思った。自分のおばあちゃんは今私を見てくれていた大切な人。だからおばあちゃんにイライラしても、おばあちゃんの気持ちを考えて行動しなければいけないと思った。私の親もおばあちゃんも仕事をしている。おばあちゃんは方々腰が痛いと言いつつも毎日、私たちのために頑張ってくれている。学校や仕事で会えない分、家優しくして、楽しい思い出をたくさんつくろうと思った。

大切な人への大切な気持ちを伝えることをためらわないで「ありがとう」「大好き」「すてき」その一言を大切な人におくることを絶対に忘れてはならないということ感じました。家族は一生の宝物だと思いました。

自分のことばかり考えるんじゃなくて、他の人のことを考えるのが大事だと思った。家族も表だけじゃなく裏でも頑張っていると思うから感謝したい。

何回も謝られるより、ありがとうと1回言われたほうがいい気持ちになると思った。だから、日々感謝の気持ちをもって接したほうがいいと思った。

おばあちゃんが失敗しても、広い心で受け止める。一方的に意見を押し付けないようにしたい。おばあちゃんやおじいちゃんとの時間を大切にしたいと思った。家族の大事さを忘れずに、ケンカしてしまっても絶対に感謝の気持ちをもって一緒に生きていきたい。

家族からいろいろ言われてイラっとくるときがあるけど、相手は私のことを考えて言ってくれているのかなと思った。おばあちゃん、おじいちゃんとは、部活とかあってなかなか会えないから会ったときは毎回「いつもありがとう」って伝えたい。家族の気持ちを考えることが大切だなと思った。

いつまでも家族や友達と一緒にいるかわからないから毎日を大切に過ごしたいと思った。

おばあちゃんにたくさんの感謝の気持ちを忘れずにこれからもずっと一緒に過ごしていきたいと思った。いつも良くしてもらっているおばあちゃんたちに次は私が良いことをしてあげたい。

私もお母さんとかに同じようなことをしてしまっていたなと思った。言ってる側は、私たちとかのことを思って言ってくれているというのを考えたら、やっぱりよく考えてから言葉を選んだほうがいいと思いました。

普段、私が学校にいる間にお母さんやお父さんは頑張って働いていて、自分も疲れているのにそれでも嫌な顔せずにご飯を作ってくれていることを普通だと思わずに、一つ一つのことに感謝しようと思った。

自分の家族は大切に、家族がいたから自分は育ってきたんだということを忘れずにしていきたい。

家族への愛

- うざい、反抗期、いらいらする、優しい、買ってくれる、相談しやすい
- イライラ、おばあちゃんのせい、迷惑、不満、やめてほしい、ほづかしい、しっかりしてほしい、⇒おばあちゃんに対して
- 僕の家族は、自分の知らないところでがんばってくれていると思うから、感謝したい。
- 家族はいつも一緒にいるからついイライラしちゃうけど、家族の気持ちを考えて、忘れちゃいけないと思う。
- ひどい事言ってしまった、申し言尺どい、おばあちゃんの涙、自分への怒り、いつまで孫のことを何もできないか、覚えてられるか、自分が嫌になる ⇒ 孫への思い
- 「いつもひどい事言てごめんね」、「いつもありがとう」、「大好きだよ」、「今日はごめんね」、「いい思い出つづいてごめんね」
- 「いつも自分の意見ばかりおつけてごめんね」、「これからはおばあちゃんのことを考えていきたい」、「おばあちゃんへの感謝の気持ち、おばあちゃんに自信を持たせたい、忘れられなようにしたい、いい思い出、おばあちゃんに楽しく、おばあちゃんのことを理解したい」
- 今までの自分の悔い、もう後悔、おばあちゃんへの感謝の気持ち

おばあちゃんが物忘れとか激しくなってもしょうがないことだから責めてはいけないし、言われたら傷つくので絶対に言うてはいけないと思った。しかも、今までとてもお世話になっているので逆に感謝しないといけないと思った。

自分も親にイラついていろいろ言うこともある。でも、親も自分らのために頑張ってくれているから感謝せないかなーって思った。

家族 is important
ひどいことを言っているけどなるべく言わないようにしたい。でも、意見は言う。

たまにお母さんにイラついて、怒ってしまうときがあるけど、その時は、「うざい」「きもい」などを言わないようにしようと思いました。お母さんたちは自分の知らない場所で頑張っていると思うから、日ごろ感謝したいなと思いました。

どんなに家族が嫌でも、日頃の感謝の気持ちを持つことが大切だと思う。自分の知らないところで頑張っているからこそ、「ありがとう」って言う気持ちが言葉で伝えるのが大事だと思います。

もっと家族のことを信頼したり、家族の気持ちを理解しないといけないと思った。自分も家族もこれからずっと忘れられないような思い出をつくっていかうと思った。

人の気持ちを知らずに文句を言わないようにしたい。

...

今、自分に1番必要なのは「家族」だと思います。いくら反抗したって、親がいなくて生きていけないのです。今一度、改めて「家族」の大切さ、必要さを考えて生きていきたいです。

...

自分も年を取ったら忘れっぽくなってしまふのだと思うと、その時は、「〇〇して欲しい」と感じる時があるかもしれない。そのように感じるのなら、おばあちゃんやおじいちゃんにそうしてあげたらいいと思った。老人に限らず、自分たちも相手の嫌な顔見ると、自分を変えようと努力をやり始めると思う。だからそのことに気づかずに自分勝手に様々なこと言うのは気をつかわなければならない。

これからは、おばあちゃんに無理をさせないように自分で行えることは自分でやって、負担を減らすのがいいと思った。そして、何かなくなっていたとしても、言及せず責めないで軽く注意したり、一緒に解決策を考えていけば、いいと思った。自分では、家族の気持ち理解して生活していこうと思った。

もし、おばあちゃんが何かやらかしてしまっても、おばあちゃんにも強い思いがあるから、おばあちゃんを責めず、優しく声をかけたいなと思いました。おばあちゃんが自分を忘れてしまっても、後悔しないようにたくさん思い出をつくっておきたいなと思いました。

いつも感謝の言葉をいえない時もあるけど、いつでも感謝の気持ちを言うことは大事だと思うし、それを言っていきたいと思う。これから先何があるかわからないので、後悔がないだけのことはして「ありがとう」の言葉は大事にしていきたいし、言っていく。そのために何でも感謝の気持ちをもって行動することが大事だと思うのでやっいていこうと思う。

おばあちゃん対しての感謝を忘れずに過ごして、自分ができることは、自分でやってあんまりおばあちゃんに辛い思いをさせないようにする。おばあちゃんがどうしてもというときは、一緒におばあちゃんと一緒に楽しみながら、良い思い出をつくってみんなが笑顔になるようにする。おばあちゃんに限らず、私はお母さんにけっこうイライラしているけれど、それも心の中では、ちゃんと私のことを考えてくれているのかなと思った。

私のおばちゃんやおじちゃんもいつもそんな風になるのか分からないという年になってきて、不安とかもあるけど、キツく言ってもよくないし、だからといって、全てをやってあげることは、おばあちゃんの「何もできない自分」という気持ちが高まるだけだと思うから、ちょうどいいくらいのサポートをしていきたい。人も気持ちはその人自身しか分からないからこういったことが実際にあったときに、この道徳の授業が大切なんだと感じた。人は必ず年を取るから、私もおばあちゃん側になった時のことも考えて、一生懸命、今私にしかできないことを頑張りたいと思う。

忘れてしまうなら、忘れられないくらいの思い出をつくったらいい。例えば、いつでも読み返せるようにお手紙を書くとか、思い出の品をつくったら忘れてしまっても、その品を見て思い出したらいいな。家族は知らないところで頑張っているから、その感謝を日々伝えられたらいいかな。

...

